



アウトリーチ型支援病院 合同研修Ⅰを開催

東京都ナースプラザでは、看護職員定着促進事業として、担当の就業協力員が200床未満の病院を訪問し、様々な取り組みをサポートしています。6月28日（水）には、「アウトリーチ型支援病院合同研修Ⅰ」を開催しました。13病院29名の看護管理者やコアメンバーが集い、自病院の地域での役割や課題を明らかにして、めざす未来像や今後の取り組みについて話し合いました。

講義

テーマ：自病院のめざす患者の姿や看護ケアを語り
未来像を共有する

講師：東京都立大学
人間健康科学研究科看護科学域
准教授 國江 慶子先生



グループワーク

テーマ：「自病院のこれからについて
看護管理者と共に語り合う」



「めざす姿」を具体的にイメージしよう

- 地域における自病院の役割や使命は何ですか？
- 患者にどのようなケアを提供したいですか？
- スタッフにどのようなになって欲しいですか？

参加者の感想 アンケートより

- ・自病院を離れて考えることで新たな発想が生まれた。
- ・語り合いの中から課題への取り組みが言語化でき、方向性を確認できた。
- ・他病院の発表は共感できるものがあり、参考になった。

講師からのメッセージ

看護管理者は、現状と課題への取り組み、その結果を語ることは慣れていますが、めざす姿から取り組みを考えそれを語ることは、意識しないと難しいものです。「こんな未来を築くためにこういうことをしよう」と語りつなげて頂くことで、スタッフの意識も変わると私は信じています。

今後のご案内

次回の合同研修Ⅱは、11月7日（火）に開催します。

次年度の事業説明会は、令和6年1月頃に予定しています。

※アウトリーチ型支援定着促進事業は、看護管理者の皆様を応援しています。

